

法務省が公表した令和2年版犯罪白書によると、覚醒剤取締法違反の検挙人員は減少していますが、若者を中心に大麻取締法違反の検挙人員が増加しています。大麻事犯の検挙人員は平成26年から毎年増加し、令和元年には初めて4000人を超えて、過去最高になりました。

大麻は「ゲートウェイドラッグ（薬物の入り口）」と言われています。タバコのように吸えて、手を出しや

すいことに加え、「タバコやアルコールより害が少なく、自然なもので危険ではない」などと誤った情報がインターネット上にアップされています。

若者たちはSNS上で大麻を含む

## 大麻乱用をなくしましよう

薬物の情報に触れ、実際に薬物を手に入れるこ

とが可能な現実があります。大人たちは、若者に薬物の危険性や有害性をしっかりと教えて薬物乱用をさせないようにしましょう。

防犯一口メモ